【えひめ医療機器開発支援ネットワーク勉強会】

講演テーマ：前十字靭帯損傷に対しての
ロボット技術による全自動靭帯再建術の試み

愛媛大学　社会共創学部産業イノベーション学科　教授
博士（工学）　山本　智規　先生

講演テーマ：医療機器販売商社が取り組む医工連携とものづくり

株式会社カワニシホールディングス　学術本部市場開発室　係長
樋口　高志　先生

日　時：令和元年１２月１７日（火）　16 時 00 分～18 時 00 分
参加費：講演会は無料。※講演会後の懇親会に参加される場合には実費をいただきます。
場　所：一番町ホール（松山市一番町 2 丁目 4-8 久保豊一番町ビル 3F）
会場には駐車場スペースがないため、公共交通機関でお越しください。
申　込：ohsaka@ehime-iinet.or.jp までメールにてご連絡をお願いします。
【申し込み締切】令和元年１２月９日（月）

山本　智規　先生
＜ご略歴＞
1996 年：愛媛大学工学部機械工学科卒業　2002 年：愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程修了
2004 年：愛媛大学工学部助手　2016 年：愛媛大学社会共創学部へ異動
＜メッセージ＞
機械工学科で人間と共存するロボットに関する研究を行っておりましたが、2016 年に新設された「社会共創学部」に異動し、そこで地域課題を解決するための研究に従事することになりました。ロボット技術を地域の課題解決に生かしていくことを考え、「地域のためのロボティクス」というテーマで研究を進めています。農林水産業など一次産業の現場では、自動化による省力化などはまだまだ 十分とは言えず、また，少子高齢化のため、従事者の負担を減らすことは急務です。さらに、体の不調をかかえる高齢者の増加も地域社会の大きな課題です。
本勉強会では、高齢者などが抱える膝関節の不調、特に前十字靭帯の再建に対 して、精度の高い手術を行うためのロボット技術の開発についてお話しさせていただきます。

樋口　高志　先生
＜ご略歴＞
1998 年：(株)四国メディカルアビリティーズ（現（株)カワニシ松山支店）入社　2014 年：医療機器情報コミュニケータ 資格取得　2017 年：現在の部署に異動し、医工連携に携わる　同年：三級 知的財産管理技能士 資格取得
＜メッセージ＞
医療機器販売業の営業職として 19 年間、中四国各地の多くの医療機関のお客様と接してまいりました。一昨年より現在の部署に所属し、「医療機器販売業者だからこそできる医工連携・ものづくり」に取り組んでおります。
医療機器産業は独特の商習慣や法規制も多く、参入のハードルが高いと思われがちです。実際に、医療機器の不具合は患者様の生命や健康に影響を及ぼしかねないものであり、開発や製造には非常に真摯な姿勢が求められます。その反面、「実はそれほど参入障壁は高くない」という部分もありますので、新規参入を図られる場合はまずはそういった部分から入られてはいかがかと思います。私自身はまだまだものづくりの素人ですが、医工連携における注意点や「ちょっとしたポイント」について、できる限りのお話をさせていただきます。

当日は、勉強会終了後、山本先生、樋口先生を囲んでの今後のビジネス談義に花を咲かせる懇親会も予定しております。経営陣の方々はもちろん、若手・中堅の方々にも御参加いただき、幅広い情報共有、意見交換の場にしていきたいと考えておりますので、皆様の御参加をお待ちしております。